



# 令和7年度 事業報告



# 日本赤十字社 長期ビジョン

## 赤十字この1年

- 01 災害救護
- 02 国際活動
- 03 赤十字ボランティア
- 04 青少年赤十字
- 05 救急法などの講習
- 06 医療事業
- 07 看護師養成
- 08 血液事業
- 09 社会福祉事業
- 10 活動資金の募集
- 11 企業・団体とのパートナーシップ
- 12 広報活動
- 13 事業実施体制の構築
- 14 一般会計及び特別会計歳入歳出決算

スライド番号

3

4

5

15

19

25

29

33

35

37

39

41

51

55

61

65



## 社会課題

災害や紛争から人々が  
守られる社会づくり

人々の健康・福祉を  
支える地域づくり

互いを思いやり、助け合い、  
尊重し合う社会づくり

## 目指す姿

**国内外における人道支援活動の“要”となり、  
わが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字**

## 行動指針

- 被支援者の側に立った想像力の発揮
- 事業間・施設間の連携による相乗効果の発揮
- 先進技術を生かした事業展開
- 「選択と集中」の徹底
- 赤十字ネットワークを活用した事業推進
- 行政や関係団体、企業、大学等との連携強化
- ビッグデータ等を活用した事業推進

## 長期戦略

### － 事業戦略 －

災害や紛争時における  
支援の充実とレジリエンスの強化

超少子高齢社会における  
地域の健康・安全な生活の追求

多様化が進む社会における  
人道の輪の拡大

### － 運動基盤強化戦略 －

会員の赤十字運動への参画促進

奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

国際赤十字との更なる協働

# 赤十字この1年

## 令和7年度

<https://www.youtube.com/watch?v=xHKVs7ucQAg>



# 01 災害救護

令和7年度は、関係機関と連携した救護班要員等の訓練や研修、救護資機材の整備により、救護対応能力を向上することをめざし、日赤災害医療コーディネーター任命式や県内保健福祉事務所との実働訓練、無線機等の整備を行いました。また、防災・減災への取組では、地域における防災・減災に対する知識・意識の更なる向上を目的として、赤十字防災セミナーの指導に当たるボランティア指導者を新たに9名養成するとともに、地元放送局と連携した啓発活動を行いました。

## (1) 災害対策本部体制・機能の強化

関係機関との連携の下、災害対策本部要員と日赤災害医療コーディネーターチームが円滑な救護活動が展開できるよう、本部運営に必要な知識の習得に係る訓練・研修を実施しました。

### ア 日赤災害医療コーディネーター任命式

任命者の意欲向上の一環として任命式を執り行うとともに、災害対策本部の支援や関係機関との調整などの役割について、統括コーディネーターによる講演を行いました。

実施日	場 所
令和7年9月17日	日本赤十字社長野県支部



任命書を受け取る新任コーディネーター

### イ 長野県保健医療福祉調整本部訓練への参加

災害時における県調整本部と日赤の体制や活動内容等に関する相互理解を深めるため、オブザーバーとして参加しました。

実施日	場 所
令和7年9月16日	長野県保健福祉事務所

## (2) 赤十字施設及び関係機関との実働訓練

県内外の支部・施設と合同訓練を実施し、赤十字の災害対応力の向上を図ったほか、長野県及び市町村が主催する訓練に参加し、関係機関との連携強化に努めました。

### ア 県内外の赤十字支部・施設との合同訓練

訓練名	実施日	主会場	参加人数等
第3ブロック支部 合同災害救護訓練	10月11日	福井県支部 福井赤十字病院 福井県赤十字血液センター	10人 長野赤十字病院救護班 1班 7人 支部職員 3人
長野県支部 合同災害救護訓練  ※飯山市主催の訓練と 連携して実施	9月28日	長野県支部 飯山赤十字病院	約240人 県内赤十字施設 北信保健福祉事務所 岳北消防本部 北信総合病院DMAT 飯山市赤十字奉仕団 赤十字ボランティア

### イ 長野県及び市町村主催の訓練参加

訓練名	実施日	主会場	参加人数等
長野県総合防災訓練	10月19日	岡谷湖畔公園	10人 日赤災害医療Co 1人 日赤災害医療CoS 1人 諏訪赤十字病院救護班 1班 7人 支部職員 1人

## 長野県支部合同災害救護訓練



救命困難な状況を想定した傷病者に対応する医療救護班



押し寄せる多数傷病者を受け入れる病院職員



北信保健福祉事務所や北信総合病院DMATと本部を運営する  
日赤災害医療コーディネーターチーム



医療救護所に傷病者を搬送する赤十字ボランティア

## (3) 医療救護班・こころのケアチームの育成

医療救護班やこころのケアチームに求められる使命や役割について理解を深めるため、各活動内容に応じた研修を実施しました。

また、各施設の医師・看護師等の指導力向上を図るなど、救護活動の中核を担う人材の育成に取り組みました。

研修名	実施日	場所	参加者 (人)	指導スタッフ (人)
医療救護班研修	6月7日	長野県支部	39	18
こころのケア研修	6月12日	長野県支部	17	12
	6月28日	諏訪赤十字病院	20	16
救護員としての 赤十字看護師研修	7月29日～31日	長野赤十字病院	16	10
	9月8日～10日	諏訪赤十字病院	25	9
	11月13日～15日	長野赤十字病院	25	10
救護員としての赤十字 看護師フォローアップ研修	12月5日～6日	諏訪赤十字病院	10	10
日赤災害医療 コーディネート研修	8月30日～31日	本社	1	2
	11月1日～2日	本社	2	2
第3ブロック 赤十字救護班研修	9月13日	日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院	3	12
こころのケア 指導者養成研修	10月22日～23日	本社	1	-
	11月23日～24日	本社	1	-



災害救護に関する知識や技術を学ぶ県内赤十字病院の医療救護班要員  
(医療救護班研修)



被災者に寄り添ったケアについて演習により理解を深める受講者  
(こころのケア研修)

## (4) 救護資機材等の整備等

能登半島地震の救護活動を踏まえ、救護資機材の更新・整備を行うとともに、救援物資の備蓄計画の見直しについて、引き続き、検討を進めます。

ア 組立トランク型自動ラップ式トイレ 12台 (赤十字病院 各2)

イ 車載型業務用無線機 6台 (赤十字病院 各1)

ウ 災害救護用車両 1台 (飯田市地区)

エ 災害対策本部要員用パソコン 5台 (支部事務局)

オ 救援物資の備蓄計画の見直し

地域の実情を踏まえつつ、関係機関と連携し、倉庫の集約など備蓄適正化に向けた検討を進めています。



車載用業務無線機



組立トランク型  
自動ラップ式トイレ



救援物資の備蓄倉庫 (松本平広域公園)

## (5) 防災・減災への取組

地域の防災・減災力の向上に資する「赤十字防災セミナー」を各地で開催したほか、ボランティア指導者の育成に取り組みました。

### ア 赤十字防災セミナーの実施

県内各地域で90回開催し、3,385の方が参加しました。

### イ 防災教育事業指導者養成研修の実施

ボランティア8人、支部職員1人の計9人を新たに養成し、当支部在籍の指導者は38人になりました。



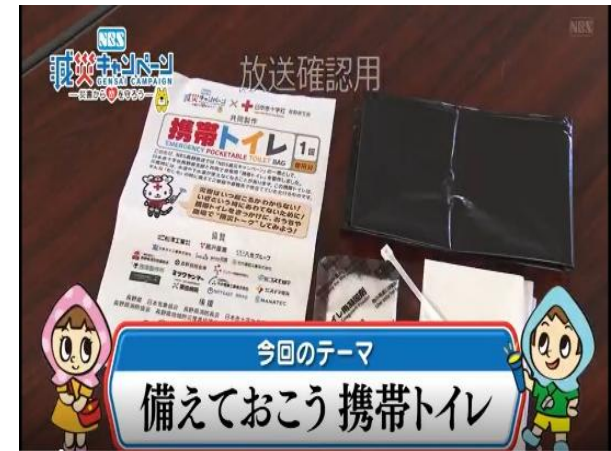
地域住民を対象とした赤十字防災セミナー（千曲市）



効果的な教材の活用方法を学ぶ新任指導者

## ウ 地元テレビ局と連携した防災減災の普及活動

長野放送が県内企業から募った協賛金を活用し、携帯トイレを2,400セット作成。松代中学校3年生を対象に開催した赤十字防災セミナー参加者に配布しました。また、テレビ番組「減災家族」の放送を通じて、県民に広く減災意識の啓発を行いました。



番組内で放映された長野県支部オリジナル携帯トイレ

## (6) 臨時救護活動の実施

県内各地の体育大会等の行事に、医師・看護師等を派遣し、救護活動を実施しました。

派遣延日数 (日)	派遣救護員 (人)			
	医師	看護師	主事等	合計
10	0	13	2	15

## (7) 災害等被災者への支援

国内で発生した災害の被災者に対し、生活を支えるための義援金を受け付けました。

この義援金は、被災地の義援金配分委員会を通じ、全額が被災者に届けられます。

### 【義援金の受付状況】

区 分	災害発生年月	件数 (件)	金額 (円)
令和6年能登半島地震災害義援金	令和6年1月	531	11,052,616
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	9月	383	2,409,645
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	令和7年3月	106	1,458,897
令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金	7月	65	228,270
令和7年台風第8号に伴う災害義援金	8月	58	323,733
令和7年8月6日から的大雨災害義援金	8月	87	490,683
令和7年台風第12号災害義援金	9月	49	173,927
令和7年台風第15号災害静岡県義援金	9月	42	372,913
令和7年台風第22号及び第23号災害義援金	10月	42	223,638
令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金	11月	57	508,448
令和7年青森県東方沖地震義援金	12月	17	79,384
合 計		1,437	17,322,154

# 02

## 国際活動

日本赤十字社は、世界191の国と地域に広がる国際赤十字・赤新月運動の一員として、紛争や災害等の国際救援活動を継続して支援しています。

令和7年度は、長野県支部を含む第3ブロックの8県支部（北陸・東海・長野）合同で、海外諸国の開発協力支援や将来の国際活動を担う国際救援・開発協力要員の人材育成を行いました。

また、世界各地で発生する人道危機などの緊急事態に際し、地区分区等のご協力をいただき、現地での救援活動や復興支援活動を支援するための海外救援金の募集を行いました。

## (1) 国際救援事業への参加

日本赤十字社第3ブロック支部合同による国際救援事業に参加しました。

### ア レバノン プライマリーヘルス・スケールアップ事業及び医療技術支援事業

2011年にシリア紛争が始まって以降、レバノンでは、現在も150万人以上の難民が劣悪な環境での避難生活を余儀なくされています。さらに急性および慢性疾患に苦しむ避難民の多くが、必要な治療を受けることができない困難に直面しています。レバノン国内の医療施設に治療に欠かせない医薬品や医療衣の提供を行うとともに、避難所に食料や日用品等を届け、避難民の支援に取り組みました。



医療技術支援に感謝する診療所の看護師長  
(レバノン)

## イ アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業

洪水やサイクロンなどの自然災害が発生しているアジア・大洋州地域において、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。災害への緊急即応体制整備の一環として、「給水・衛生災害対応キット」の配備に取り組むとともに、現地の赤十字社スタッフやボランティアを対象に、資機材を活用できる人材育成を支援しました。



水を処理する実習に取り組む研修参加者  
(アジア・大洋州)

## ウ 南部アフリカ地域 感染症対策事業

南部アフリカ地域は、HIVをはじめとする感染症の脅威や気候変動の影響によりさまざまな課題を抱えています。エイズ孤児や貧困層世帯などが心身ともに健康な生活を享受できるよう、HIVの感染症予防対策、衛生状態の改善、生計支援、教育支援など幅広い支援に取り組みました。



感染症対策について子どもが学ぶ  
地域のコミュニティー  
(南部アフリカ地域)

## (2) 国際赤十字への支援

世界各地で発生する人道危機などの緊急事態に際し、海外救援金の受付やNHK海外たすけあいキャンペーンを実施しました。



幼稚園児とNHK海外たすけあいキャンペーンのイベントを実施

### 【海外救援金の受付状況】

区分	件数 (件)	金額 (円)
中東人道危機救援金	29	145,669
バングラデシュ南部避難民救援金	34	26,889
2025年ミャンマー地震救援金	52	347,799
ウクライナ人道危機救援金	156	1,067,787
2025年アフガニスタン地震救援金	30	132,949
2025年パキスタン洪水救援金	22	120,889
イラン及び周辺国人道危機救援金	2	17,311
地域無指定の救援金	8	119,503
NHK海外たすけあい	1,617	2,568,323
合計	1,950	4,547,119

# 03 赤十字 ボランティア

赤十字ボランティアは、赤十字の使命である人道を実践しようとする人々によって結成された組織です。

令和7年度は、ボランティア活動の活性化を図るため、特色ある取組を行う奉仕団に対し、効果的な助成となるよう制度の見直しを行いました。

また、奉仕団がより主体的に活動できるよう研修会を充実させるとともに、若年層ボランティアの育成、奉仕団同士の交流の促進に取り組みました。

## (1) 特色ある地域奉仕団活動の支援

地域の実情やニーズに応じた特色ある活動を促進する助成制度を創設し、奉仕団活動の活性化を図りました。

### ① 地域赤十字奉仕団活動特別補助金

地区区分における奉仕団活動のより一層の充実を図るため、交付する補助金

■ 交付実績：44地区区分、計11,723,100円

### ② 地域赤十字奉仕団指定活動助成金（令和7年度から助成）

地区区分における奉仕団活動の拡充を図るため、次の事業に対し、1つの事業につき5万円を限度に交付する助成金

(ア) 奉仕団員の増強を推進する取組であること。

(イ) 他団体等と連携・協力して実施する取組であること。

(ウ) 新たな奉仕団活動の創出を進める取組であること。

■ 交付実績：30地区区分、計 2,550,000円

## ■ 他団体と連携・協力して実施した取組



「赤十字防災セミナー（防災教育）」×「子ども食堂（カレー大作戦）」（朝日村）



「きけんはっけん（防災教育）」×「保育園の避難訓練」（茅野市）

## (2) 若年層ボランティアの育成

青年奉仕団が長野市主催のプロジェクトに参加し、高校生の有志とともにクリスマスプレゼントを作製して、県内赤十字病院の小児科に入院する子どもたちや乳児院の入所児等と交流しました。

また、岡学園トータルデザインアカデミーの学生による新たな視点や発想を取り入れた赤十字活動をPRする取組など、学生や専門学校と連携した活動を行いました。



岡学園トータルデザインアカデミー 長野プロデュース科の作品

## (3) 主体的な奉仕団活動の促進

豊富な知識と経験を有する指導講師が中心となって、各地域の奉仕団委員長等を対象にした幹部研修会を開催しました。本研修では、奉仕団活動に必要な知識の習得や活動事例を共有するとともに、コミュニケーションの大切さを体験するグループワークを通じ、奉仕団の主体性の向上と地域を越えた奉仕団同士の交流を図りました。

また、奉仕団員が災害に強いまちづくりの推進に貢献するとともに、防災啓発活動を牽引する人材を育成するため、災害時における炊き出しなど実践的な演習を取り入れた研修会を開催しました。



「ドローイング」を体験する奉仕団員



「きけんはっけん」を参加者に実演する奉仕団員

## ■ 開催状況

### <地域奉仕団幹部研修会>

開催日	会場	参加者数 (人)
6月19日	日本赤十字社長野県支部 会議室	39
6月26日	佐久穂町生涯学習館 花の郷・茂来館	28
7月 2日	大町市文化会館 サン・アルプス大町	28
7月 4日	茅野市役所 8階 大ホール	28
7月10日	伊那市役所 1階 多目的ホール	45
7月11日	飯田文化会館	72
	合計 (6会場)	240

### <防災啓発研修会>

開催日	会場	参加者数 (人)
7月25日	日本赤十字社長野県支部 会議室	39

# 04 青少年赤十字

将来を担う青少年の豊かな心を育むとともに、青少年赤十字メンバーが相互に活動を共有できる機会を確保しました。

社会環境や教育現場の変化に合わせた学びの機会を提供し、自ら「気づき、考え、実行する」子どもたちの育成に取り組みました。

## (1) 青少年赤十字活動の活性化

青少年赤十字活動の活性化を図るため、青少年赤十字メンバーの交流を実施しました。

伊那市では、西春近北小学校と西春近南小学校の赤十字メンバーと一緒に救急法講習を受講しました。この取組は、学校の安心・安全にも役立つものとなりました。



初の合同開催となった救急法講習（伊那市）

【青少年赤十字加盟校数】令和8年3月末現在

区分	加盟校数（校）
小学校	71
中学校	78
高等学校	69
特別支援学校	2
合計	220

### ■ 新規加盟校（9校）

長野市立信里小学校  
 長野市立柳原小学校  
 長野市立櫻ヶ岡中学校  
 筑北村立聖南中学校  
 塩尻市辰野町中学校組合立両小野中学校  
 伊那市立西春近北小学校  
 伊那市立西春近南小学校  
 伊那市立高遠小学校  
 伊那市立高遠中学校

## (2) 長野県教育委員会等との連携

長野県教育委員会及び青少年赤十字指導者協議会等と連携し、青少年赤十字研究推進校及び加盟校との協働による取組を推進しました。

指定年度	学校名	研究内容
令和6・7年度	飯田市立鼎中学校	生徒が主体的に「気づき 考え 実行する」姿の実現を目指して ～「鼎中ボランティアステーション」活動を通じて～
令和7・8年度	山ノ内町立東小学校	「つながり（ひと・もの・こと）」を尊重し、自分らしいやり方で 地域社会に参画しようとする児童の育成



飯田市立鼎中学校



山ノ内町立東小学校

## (3) 青少年赤十字指導者の養成

本社及び青少年赤十字賛助奉仕団と協力し、教育現場で活動する指導者の養成に努めました。

## (4) 青少年赤十字プログラムの活用

「まもるいのちひろめるぼうさい」等の教材を活用した防災教育を各校で実施し、児童・生徒及び教職員への防災・減災意識の普及に努めました。



中学校における防災教育

### ■ 主な事業の実施状況

内容	実施日	場所
青少年赤十字指導者協議会総会	5月28日	長野県支部
第3ブロック支部青少年指導者協議会長研究会	6月20日	Web
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	7月4日	本社
青少年赤十字研究推進校発表会	11月14日	飯田市立鼎中学校
青少年赤十字指導者協議会役員会	12月23日	Web
青少年赤十字指導者協議会研修会	2月27日	Web

# 05

## 救急法などの 講習

赤十字の各種講習は、基本理念の「人道」に掲げる“人間の苦痛を予防し軽減すること”に努める活動です。

県民の皆さまに健康で安全な毎日を送っていただけるよう、長野県支部では4つの講習（救急法、水上安全法、健康生活支援講習、幼児安全法）の普及に努めるとともに、講習指導の質を高める指導員研修や講習を効果的に実施するための講習資機材の整備に取り組みました。

## (1) 応急手当や事故防止等の知識・技術の普及

より多くの皆さまが健康と安全に役立つ知識と技術が習得できるよう、地区分区やボランティア等のご協力のもと、県内各地で講習会を開催しました。

### 【各種講習会の開催状況】

講習区分		資格者の養成			短期講習		計	
		実施(回)	受講者数(人)	養成者数(人)	実施(回)	受講者数(人)	実施(回)	受講者数(人)
救急法	基礎講習	48	935	921	505	10,591	585	12,196
	救急員養成	32	670	661				
水上安全法	I	1	6	5	0	0	2	8
	II	1	2	2				
健康生活支援講習		6	53	50	31	561	37	614
うち 災害時高齢者生活支援		-	-	-	25	449	25	449
幼児安全法		6	82	81	55	1,030	61	1,112
合計		94	1,748	1,720	591	12,182	685	13,930

## (2) 指導体制の強化及び指導技術の向上

指導体制の強化を図るため、幼児安全法指導員養成講習会及び救急法資格継続適性審査を開催し、指導技術の向上に努めました。

### (ア) 幼児安全法指導員の養成

開催日	場所	養成者 (人)
12月1日・2日・8日・9日・10日	長野県支部	9

### (イ) 救急法指導員資格継続適性審査の実施

実施日	場所	合格者 (人)
2月14日	長野県支部	17
2月18日	安曇野赤十字病院	5
2月20日	長野県支部	8
2月25日	諏訪赤十字病院	10
2月26日	下伊那赤十字病院	8

## (ウ) 各講習指導員研修会の開催

講習区分	開催方法	開催日
救急法、水上安全法、幼児安全法	Web視聴	令和8年2月28日～
健康生活支援講習	参集	2月11日

## (3) 講習資機材の更新

今後導入が予定される新たな心肺蘇生ガイドライン（G2025）に対応した講習普及を進めるため、「オートショックAED」トレーナーや講習人形を整備しました。

- ア AED訓練用トレーナー 15台
- イ 講習人形（成人タイプ） 32体
- ウ 講習人形（幼児タイプ） 2体



講習人形（成人タイプ）



AED訓練用トレーナー

# 06

## 医療事業

日本最大級の病院グループとしての役割を果たしつつ、更なる医療の質向上をめざしました。経営面では、全職員の意識改革と業務の合理化・効率化を推進し、安定した医療提供体制を維持しました。

また、病院祭や出前講座等の実施を通じて地域住民の皆様との信頼関係を深め、地域医療の拠点としての機能を発揮できるよう努めました。

〔長野赤十字病院〕 〔諏訪赤十字病院〕 〔安曇野赤十字病院〕

〔飯山赤十字病院〕 〔下伊那赤十字病院〕 〔川西赤十字病院〕

## (1) 安心・安全な医療の提供

医療安全・感染対策の徹底と高度先進医療の推進により、地域へ安心・安全な医療を提供しました。また、医師等の働き方改革に注力し、質の高い医療と持続可能な職場環境の構築を推進しました。

## (2) 経営の安定化

経費削減と業務効率化を徹底し、経営基盤の強化に努めました。安定した運営体制を確立することで、病院機能の維持と地域医療の発展に貢献しました。

## (3) 地域交流の促進

出前講座や病院祭を積極的に開催し、地域住民の皆様との交流を深めました。これらの活動を通じ、地域から選ばれる信頼される病院づくりを推進しました。



病院祭の救護体験ブースの様子  
(下伊那赤十字病院)

# 07

## 看護師養成

赤十字の基本原則に基づく看護を実践し、人道を具現化できるとともに、赤十字の各事業の連携の輪をつなぐ役割の一役を担い、事業の推進役となる看護師の育成に努めました。

[諏訪赤十字看護専門学校]

## (1) 地域医療に貢献する看護師の養成

諏訪赤十字看護専門学校では、赤十字の理念に基づいた質の高い看護教育を実践しました。地域医療を支える、高い実践力と人間性を備えた看護師を育成・輩出しました。（看護師国家試験合格率9年連続100%）

【諏訪赤十字看護専門学校の在校生】 令和8年3月現在

1 学年	2 学年	3 学年	合計 (人)
31	34	26	91



戴帽式

## (2) 高度な知識と技術を身に着けた看護師の養成

日本赤十字豊田看護大学と連携し、高度な知識と技術を備えた看護師育成と専門性及び質の高い人材輩出を図りました。

【長野県支部長推薦制度により入学した在学生数】 令和8年3月現在

1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	合計 (人)
0	2	1	5	8

# 08

## 血液事業

少子高齢化による献血可能人口の減少を見据え、若年層の献血者確保に努めました。安定的・効率的な血液供給体制の維持を図るため、SNS活用や「ラブラッド」会員の加入促進を強化しました。

〔長野県赤十字血液センター〕

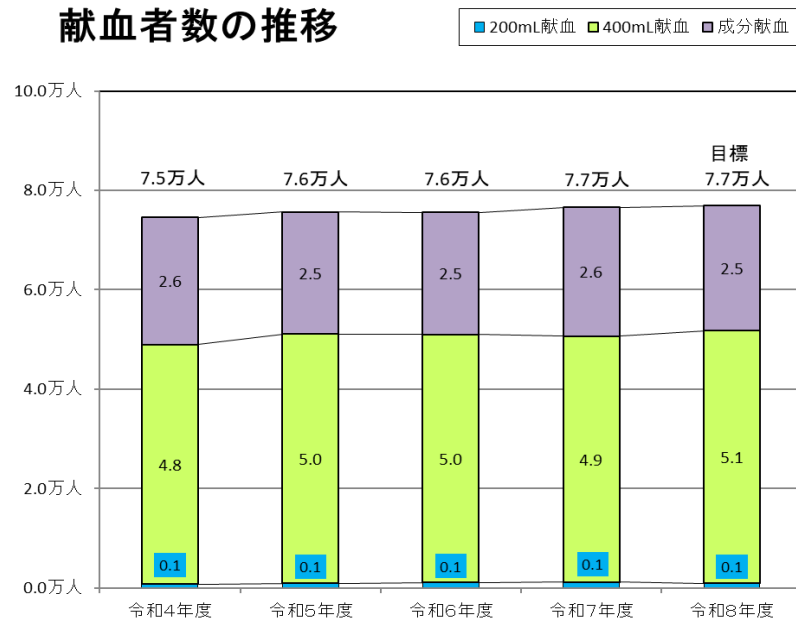
## (1) 献血事業の推進

効率的な献血者確保と安定的な血液供給体制の維持を図るため、SNS等を活用した広報活動を強化しました。

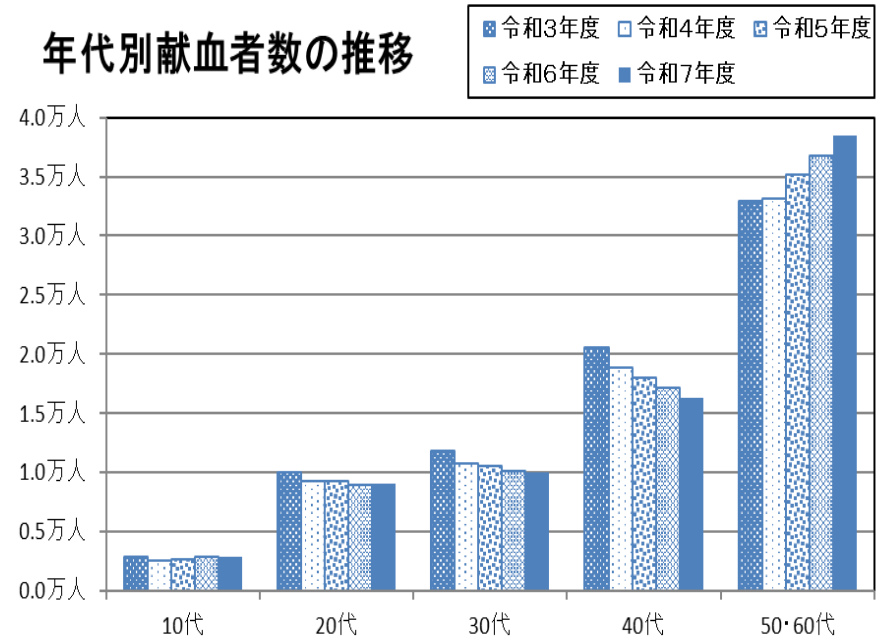
## (2) 献血者数の確保と計画

需要に応じた献血者確保に加え、若年層（10代～30代）の協力率向上に努めました。また、Webを活用した献血予約（ラブラッド）の普及と予約率の着実な向上を図り、医療現場への安定的かつ効率的な血液供給体制を維持しました。

### 献血者数の推移



### 年代別献血者数の推移



# 09

## 社会福祉事業

家庭での養育が困難な乳幼児の保護・養育を担うとともに、関係機関と連携し、地域の子育て支援体制の充実に努めました。

また、育児相談や親子交流、里親支援事業等を推進し、地域福祉の拠点としての役割を果たしました。

〔松本赤十字乳児院〕 〔里親支援センターひまわり〕

## (1) 児童福祉の推進

松本赤十字乳児院では、家庭的な養育環境のもと、個々の特性に応じたケア体制の充実と、児童の健やかな成長支援に努めました。また、育児相談や親子交流会などの子育て支援事業に取り組みました。



家庭的な養育環境（少人数グループケア）

## (2) 里親養育事業の推進

里親支援センター「ひまわり」を拠点に、児童が家庭と同じように安心して健やかな生活を送れるよう、里親制度の普及啓発に努めました。児童相談所や自治体と緊密に連携し、子どもたちの未来の暮らしを支えるための養育支援体制の充実を図りました。

# 10

## 活動資金の募集

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字活動は、県民の皆さまからお寄せいただく活動資金が財源であり、その募集は、地区区分をはじめ、各地域の自治会・町内会や協賛委員、奉仕団員の協力によって支えられています。

活動資金の募集に当たって、戸別訪問を基本に赤十字活動をご理解いただけるよう広報チラシを作製・配布するとともに、利便性の高い口座振替やクレジットカード決済による募集を実施したほか、ダイレクトメールの送付や法人訪問による協力依頼を行いました。

総額314,507,021円のご寄付をいただきました。

## (1) 地区分区事務局との連携

支部と地区分区の円滑な連携と意思疎通を図るとともに、双方が一体となって活動資金の確保に取り組むため、日赤事務新任担当者向けの研修を実施したほか、地区分区主催の募集会議への出席、地区分区の担当課長及び担当者との会議を開催、地区分区へ訪問に加え、地区分区における活動資金募集の現状調査にかかる報告会など、各地域の実情や課題など状況把握と共有に努めました。

また、新たな取組として、支部災害合同救護訓練において奉仕団役員及び担当者の視察見学や、法人訪問を地区担当者と支部職員共同で行うなど、赤十字事業の振興に向けて連携を図りました。

区分	開催日	会場	参加人数(人)
地区分区新任担当者研修	4月10日	WEB形態	43
支部合同救護訓練視察見学	9月28日	飯山赤十字病院	9
活動資金募集の現状調査にかかる報告会	11月13日	WEB形態	41
地区分区担当課長会議	12月16日	WEB形態	58
地区分区事務担当者会議	2月中旬～3月上旬にかけて	県支部ほか5会場	72

## (2) 支援者の拡大と活動資金の確保

地域の戸別訪問を中心とした募集活動は、高齢化の進展や地域コミュニティの変容等により、年々厳しさを増しています。これに対応するため、本社が持つデータ等を有効活用し、ダイレクトメールの発送や、遺贈・相続財産寄付に関心のある方へのアプローチなど、赤十字活動の周知拡大と活動資金の募集強化に戦略的に取り組みました。



遺贈等の広告 (全国紙・総合月刊誌)

【ダイレクトメール依頼による応諾状況】

応諾状況	個人	法人	合計
協力者数	197人	264社・団体	461
総額	3,476,600円	10,288,000円	13,764,600円

【令和7年度活動資金募集実績額】	
地区分区 (市町村受付分)	223,265,371円
(内訳)	
市地区	171,258,936円
町村分区	52,006,435円
支 部 (口座振替等含む)	35,935,809円
小 計①	259,201,180円
施 設②	54,776,071円
指定事業海外救援金③	529,770円
計 (①+②+③)	314,507,021円

## 地区分区別の活動資金募集実績額

(単位：円)

地区分区名	目標額	実績額	実績額内訳				前年度 実績額
			市町村受付	口座振替	クレジットカード・ AmazonPay	DM	
長野市	54,006,000	42,243,550	40,624,550	605,000	1,014,000		43,378,898
松本市	35,816,000	21,213,645	20,262,645	334,000	537,000	80,000	21,902,119
上田市	21,344,000	10,223,865	9,813,865	87,000	186,000	137,000	11,408,349
岡谷市	6,345,000	5,924,284	5,733,284	7,000	27,000	157,000	6,142,668
飯田市	12,595,000	13,362,801	13,233,801	45,000	84,000		13,735,705
諏訪市	7,215,000	7,145,548	5,833,548	93,000	183,000	1,036,000	7,211,571
須坂市	6,355,000	4,628,342	4,459,342	50,000	106,000	13,000	4,764,757
小諸市	5,688,000	5,203,297	5,149,297	18,000	36,000	0	5,488,473
伊那市	9,085,000	7,089,742	6,721,742	53,000	131,000	184,000	7,280,334
駒ヶ根市	4,456,000	3,304,350	2,949,350	30,000	54,000	271,000	3,263,822
中野市	5,694,000	5,724,081	5,665,081	35,000	24,000	0	5,758,303
大町市	3,412,000	2,809,950	2,685,950	114,000	10,000	0	3,068,250
飯山市	2,276,000	1,901,938	1,901,938	0	0	0	1,963,052
茅野市	8,076,000	4,501,092	4,388,092	8,000	105,000	0	5,060,846
塩尻市	9,275,000	7,131,700	6,222,700	512,000	397,000	0	6,980,900

# 10 活動資金の募集

(単位：円)

地区区分名	目標額	実績額	実績額内訳				前年度 実績額
			市町村受付	口座振替	クレジットカード・ AmazonPay	DM	
佐久市	13,188,000	11,033,821	10,638,821	294,000	96,000	5,000	11,253,995
千曲市	7,230,000	10,428,742	10,313,742	36,000	79,000	0	10,850,720
東御市	3,667,000	3,638,152	3,573,152	27,000	38,000	0	3,772,410
安曇野市	12,236,000	11,548,036	11,088,036	51,000	317,000	92,000	11,930,999
小海町	570,000	1,394,260	1,354,260	0	40,000		1,392,000
佐久穂町	1,194,000	1,402,250	1,399,250	0	3,000		1,453,800
川上村	527,000	479,227	479,227	0	0		494,000
南牧村	387,000	264,068	254,068	10,000	0		246,500
南相木村	120,000	339,500	339,500	0	0		347,500
北相木村	95,000	141,600	141,600	0	0		143,500
軽井沢町	3,654,000	2,716,920	2,354,920	78,000	284,000		4,496,380
御代田町	2,334,000	2,578,928	2,560,928	18,000	0		2,687,610
立科町	787,000	1,117,500	1,117,500	0	0	0	1,188,400
長和町	676,000	1,232,200	1,206,200	5,000	21,000		1,236,500
青木村	487,000	637,700	637,700	0	0		725,400
下諏訪町	2,564,000	2,301,667	2,266,667	5,000	30,000		2,385,077

# 10 活動資金の募集

(単位：円)

地区区分名	目標額	実績額	実績額内訳				前年度 実績額
			市町村受付	口座振替	クレジットカード・ AmazonPay	DM	
富士見町	1,851,000	1,907,033	1,851,033	56,000	0	0	1,792,113
原 村	999,000	842,151	797,151	0	45,000	0	839,861
辰野町	2,458,000	1,641,623	1,564,623	34,000	43,000		434,900
箕輪町	3,346,000	3,247,600	3,118,600	45,000	84,000		3,352,142
飯島町	1,105,000	2,271,250	2,197,250	0	74,000		2,294,918
南箕輪村	2,342,000	1,622,800	1,593,800	0	29,000		1,646,700
中川村	522,000	722,988	692,988	0	30,000		695,523
宮田村	1,176,000	1,407,700	1,395,700	0	12,000		1,467,800
松川町	1,457,000	1,445,000	1,409,000	0	36,000	0	1,486,500
高森町	1,478,000	810,881	810,881	0	0	0	919,054
阿南町	449,000	540,700	540,700	0	0		553,714
阿智村	680,000	855,445	850,445	0	5,000		851,548
平谷村	55,000	48,172	48,172	0	0		46,000
根羽村	110,000	183,718	183,718	0	0		161,296
下條村	354,000	563,800	563,800	0	0		582,600
売木村	73,000	149,900	149,900	0	0		125,230

# 10 活動資金の募集

(単位：円)

地区区分名	目標額	実績額	実績額内訳				前年度 実績額
			市町村受付	口座振替	クレジットカード・ AmazonPay	DM	
天龍村	146,000	293,300	281,300	0	12,000		293,000
泰阜村	168,000	256,500	256,500	0	0		262,500
喬木村	626,000	722,000	722,000	0	0		731,650
豊丘村	739,000	415,791	415,791	0	0		508,805
大鹿村	146,000	188,700	188,700	0	0		192,700
上松町	564,000	1,060,380	1,060,380	0	0		1,131,930
南木曽町	480,000	547,311	547,311	0	0		600,900
木曽町	1,380,000	1,509,031	1,499,031	0	10,000	0	1,569,324
木祖村	301,000	370,500	370,500	0	0		369,800
王滝村	105,000	216,533	216,533	0	0		216,984
大桑村	436,000	585,320	585,320	0	0		589,520
麻績村	267,000	309,184	309,184	0	0		302,350
生坂村	195,000	305,500	305,500	0	0		301,850
山形村	1,013,000	223,400	220,400	0	3,000		222,500
朝日村	476,000	522,700	522,700	0	0	0	551,102
筑北村	503,000	708,450	708,450	0	0		717,510

# 10 活動資金の募集

(単位：円)

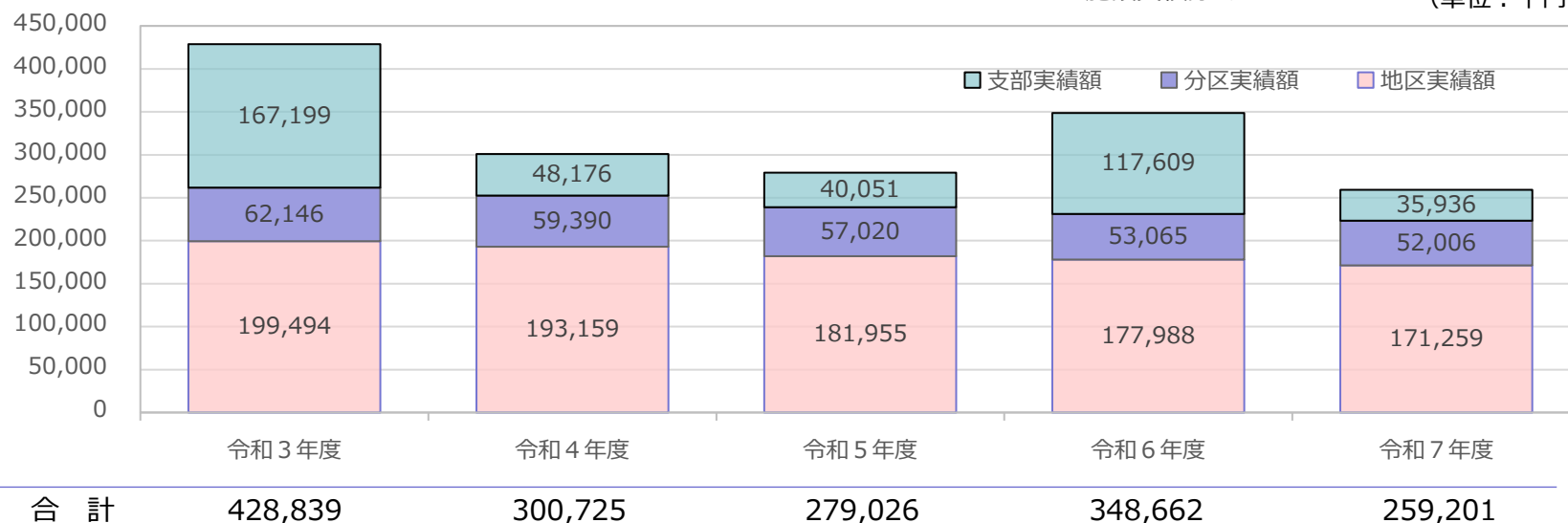
地区区分名	目標額	実績額	実績額内訳				前年度実績額
			市町村受付	口座振替	クレジットカード・AmazonPay	DM	
池田町	1,115,000	1,239,950	1,221,950	18,000	0		1,256,710
松川村	1,139,000	420,900	404,900	0	16,000	0	1,250,570
白馬村	1,135,000	416,554	352,554	2,000	32,000	30,000	600,200
小谷村	343,000	649,582	649,582	0	0	0	636,550
坂城町	2,118,000	2,657,684	2,641,684	0	16,000	0	2,749,002
小布施町	1,243,000	679,296	634,296	45,000	0		811,964
高山村	801,000	619,500	619,500	0	0		632,000
山ノ内町	1,317,000	1,399,397	1,381,397	18,000	0	0	1,486,371
木島平村	465,000	382,172	382,172	0	0		395,730
野沢温泉村	344,000	388,743	388,743	0	0		383,937
栄村	202,000	299,800	299,800	0	0		271,500
信濃町	965,000	1,077,950	1,077,950	0	0		1,123,975
飯綱町	1,182,000	1,495,510	1,491,510	4,000	0		1,498,512
小川村	277,000	371,216	371,216	0	0		323,700
<b>市計</b>	<b>227,959,000</b>	<b>179,056,936</b>	<b>171,258,936</b>	<b>2,399,000</b>	<b>3,424,000</b>	<b>1,975,000</b>	<b>185,216,171</b>
<b>町村計</b>	<b>52,041,000</b>	<b>53,199,435</b>	<b>52,006,435</b>	<b>338,000</b>	<b>825,000</b>	<b>30,000</b>	<b>56,029,712</b>

(単位：円)

区分	実績額	実績額内訳				前年度実績額
		市町村受付	口座振替	クレジットカード・AmazonPay	DM	
市町村計	232,256,371	223,265,371	2,737,000	4,249,000	2,005,000	241,245,883
支部扱	26,944,809	-	-	-	-	107,416,295
小計(①)	259,201,180	223,265,371	2,737,000	4,249,000	2,005,000	348,662,178
施設扱計(②)	54,776,071	-	-	-	-	89,862,996
指定事業海外 救援金(③)	529,770	-	-	-	-	0
合計(①+②+③)	314,507,021	-	-	-	-	438,525,174

直近5年間の日赤活動資金の実績(支部・市町村計) ※指定事業海外救援金・施設実績除く

(単位：千円)



# 11

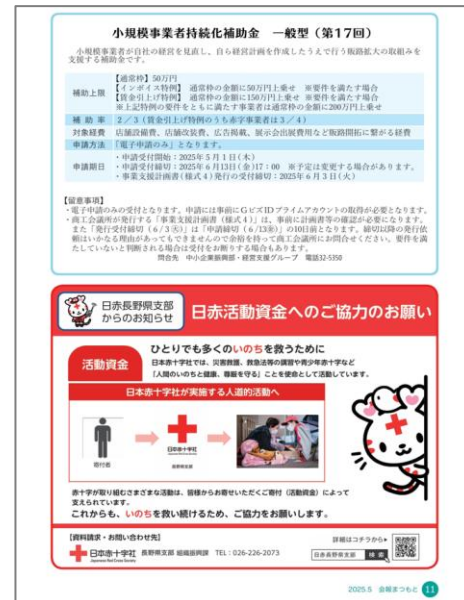
## 企業・団体との パートナーシップ

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動を共に推進して  
くださる企業・団体等とのパートナーシップを求めています。

企業・団体の社会貢献に対するご意向を尊重し、さまざまな形態でご協力  
いただきました。

## (1) 長野県の経済団体との幅広い広報活動の展開

長野県経営者協会や長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会など、県内の経済団体にご協力いただき、幅広い広報活動や募集に取り組みました。会報誌に赤十字をPRする広告を掲載いただいたほか、会議において、赤十字活動の説明やご寄付をお願いする時間をいただくなど、各会員の皆様への広報にご協力いただきました。



**小規模事業者持続化補助金 一般型 (第17回)**

小規模事業者が自社の経営を見直し、自ら経営計画を作成したうえで行う販路拡大の取組みを支援する補助金です。

**【補助額】** 50万円  
**【インボイス特例】** 通常枠の金額に50万円上乗せ ※要件を満たす場合  
**【買掛金上げ特例】** 通常枠の金額に150万円上乗せ ※要件を満たす場合  
 ※上記特例の要件をともに満たす事業者は通常枠の金額に200万円上乗せ

**【補助率】** 2/3 (買掛金上げ特例のうち赤十字事業者は3/4)

**対象事業者** ①業種の制限、②業種の変更、③法令掲載、④協会出展費用など補助開始に替わる経費

**申請方法** 【電子申請のみ】となります。

**申請受付開始:** 2025年5月1日(木)  
**申請受付締切:** 2025年6月15日(金)17:00 ※予定は変更する場合があります。  
 ※事業実施計画書(様式4)発行の受付締切: 2025年6月21日(火)

**【留意事項】**  
 ・電子申請のみの受付となります。申請には事前にG2Dプラットフォームの取付が必要となります。  
 ・商工会議所が発行する「事業実施計画書(様式4)」は、事前に計測等の確認が必要となります。  
 ・また「発行受付締切(6/30)」は「申請締切(6/15)」の前倒しとなります。補助金の発行は補助金交付の期日があってもできませんので余裕を持って商工会議所にお問い合わせください。要件を満たしていないと判断される場合は受付をお断りする場合があります。  
 問合せ: 中心企画課総務・経営支援グループ 電話:026-226-2073

日赤長野県支部 からのお知らせ **日赤活動資金へのご協力をお願いします**

**活動資金** ひとりでも多くのいのちを救うために  
 日本赤十字社では、災害救援、救護活動の運営や青少年赤十字など「人間のいのちを守る、命を守る」ことを使命として活動しています。

日本赤十字社が実施する人道的活動へ

赤十字が取り組むさまざまな活動は、皆様からお寄せいただくご寄付(活動助成)によって支えられています。  
 これからも、いのちを救い続けるため、ご協力をお願いします。

【資料請求・お問い合わせ先】  
 日赤赤十字社 長野県支部 総務課総務 TEL: 026-226-2073 詳細はコチラから  
 日赤長野県支部 総務課 TEL: 026-226-2073

2025.5 春報まつもと 11

松本商工会議所の会報へ掲載

## (2) 長野県赤十字有功会との連携強化

長野県赤十字有功会が主催する令和7年度総会において、日本赤十字社に多額のご寄付をされた方々に対して、有功章等の表彰伝達を行いました。また、支部が行った大給恒PR事業に対して、費用の一部を助成いただきました。



有功会総会における表彰伝達

## (3) 長野マラソン大会組織委員会とのパートナーシップ協定に基づく連携

長野マラソン大会組織委員会と日本赤十字社長野県支部は、ボランティア精神の醸成や社会貢献活動に関するパートナーシップ協定を締結しています。毎年、大会では赤十字PRブースを設けていただくほか、参加料に寄付を上乗せするチャリティーエントリーを企画いただき、赤十字の活動資金としてご寄付いただいています。



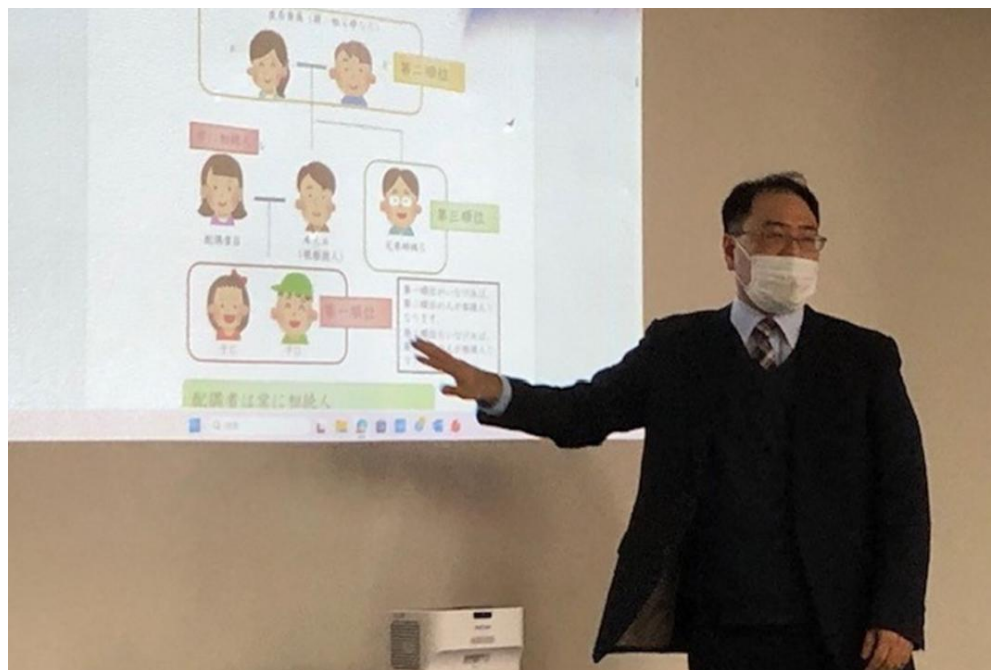
長野マラソン大会の赤十字PRブース



チャリティーエントリー寄付贈呈

## (4) 長野県司法書士会等との共同による遺贈・相続にかかる広報の展開


長野県司法書士会との共同により相続・遺言セミナーを開催しました。昨年度に引き続き長野地方法務局に講師として加わっていただき「未来へつなぐ、自分に合った相続や遺言」と題し、県内2会場（松本市・小諸市）で行いました。相続や遺言書の作成の一助となる内容となりました。

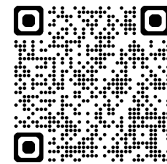


相続セミナー（小諸会場）

# 12

## 広報活動

大阪・関西万博の赤十字パビリオン  
「国際赤十字・赤新月運動館」 



設立時から変わらない日赤の使命「人間のいのちと健康、尊厳を守る」こと。  
その原点に立ち返り、より多くの理解者を求める広報活動を展開しました。  
令和7年度は、大阪・関西万博の赤十字パビリオンの出展に協力し、人道支援  
団体としての国民理解に努めました。

## (1) 広報強化期間（4月～9月）における集中的な広報の推進

毎年5月の赤十字運動月間に合わせ、大阪・関西万博の赤十字パビリオン「国際赤十字・赤新月運動館」と創立150周年をPRするCMの放映や、地元テレビ局の番組への出演など、マスメディアを通じた広報を実施しました。

### ■ テレビCM



TVCM「赤十字は、動いてる！」Road to 150

### ■ テレビ番組への出演



信越放送放送「HOT情報」

(長野朝日放送「いまドキッ！」にも出演)

## (2) 支部広報委員会による戦略的広報の展開

支部事務局と各施設が連携し、広報業務を円滑かつ効果的に推進するため、広報担当課長及び担当者で構成する広報委員会を設置しています。令和7年度は、創立150周年プロジェクトの一つである「ご当地ハートラちゃん」の長野県版のデザインを協議しました。

### ■ 委員会で検討したデザイン案（一部）



長野県らしさを活かした様々なデザインを検討

## (3) 広報資材の作成・配布

赤十字活動や寄付金の使途を分かりやすく伝えるため「全戸配布チラシ」やノベルティグッズとして「ハートラちゃんシール」を作製したほか、長野県にゆかりのある日本赤十字社 初代副社長 大給 恒の功績を伝える紙芝居を絵本化しました。

### ■ 全戸配布チラシ

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字活動の安定と継続のために皆様のご支援をよろしくお願いいたします



**①いのちを救う**  
災害発生時の救済活動、被災者への支援活動、災害発生時の救済活動、被災者への支援活動、災害発生時の救済活動、被災者への支援活動。

**②ひとを育む**  
青少年の育成活動、高齢者の支援活動、障害者の支援活動、外国人労働者の支援活動。

**③ちいきを支える**  
高齢者の支援活動、障害者の支援活動、外国人労働者の支援活動。

**④いのちを支える**  
高齢者の支援活動、障害者の支援活動、外国人労働者の支援活動。

**⑤未来へつなげる**  
青少年の育成活動、高齢者の支援活動、障害者の支援活動、外国人労働者の支援活動。

赤十字活動資金に  
あたかいた協力  
をお願いします

年次	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
人数	293	289	287	280	278	277	274	275	261	249	241

71万部作成し県内各地で配布

### ■ ハートラちゃんシール




こんにちは!  
日本赤十字社公式マスコットキャラクタの「ハートラちゃん」です。

「苦しんでいる人を救いたい」という強い思いで、ハートランドの森からやってきました。おでこの赤十字標章、大きなハート型の耳や真っ白な体に赤いしま模様チャームポイントです。

赤十字の活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます!

日本赤十字社は、苦しんでいる人を救いたいという想いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守るという使命を実現するため、幅広い事業を展開しています。

今後も人を救うための取り組みを続けていきますので、引き続きあたかいたご支援をよろしくお願いいたします。

人間を救うのは、人間だ  日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

裏面にはハートラちゃんと赤十字活動の紹介

## ■ 日本赤十字社 初代副社長 大給 恒

令和9年に迎える創立150周年に向けて、日本赤十字社の誕生に尽力した初代副社長で佐久市臼田にゆかりのある大給 恒にスポットライトを当て、これをPRするための事業を令和5年度から展開しています。令和7年度は、長野県赤十字有功会等のご支援のもと、一般の方々に大給 恒の功績や人柄を周知し、赤十字を身近に感じていただけるよう、長野県赤十字広報奉仕団紙芝居班が作製した紙芝居「大給 恒～次世代へとつづく赤十字の道～」を絵本化しました。



#### (4) 情報発信の強化

大阪・関西万博の「国際赤十字・赤新月運動館」では、多くの来場者に赤十字運動への理解や共感を高めてもらい、人道アクションにつながるよう、赤十字の世界観を体験できる場としました。長野県支部からは、この運営スタッフとして、ボランティア2名、職員4名を派遣しました。また、長野県赤十字歴史館を通じて、活動の歴史と先人偉功を伝えました。



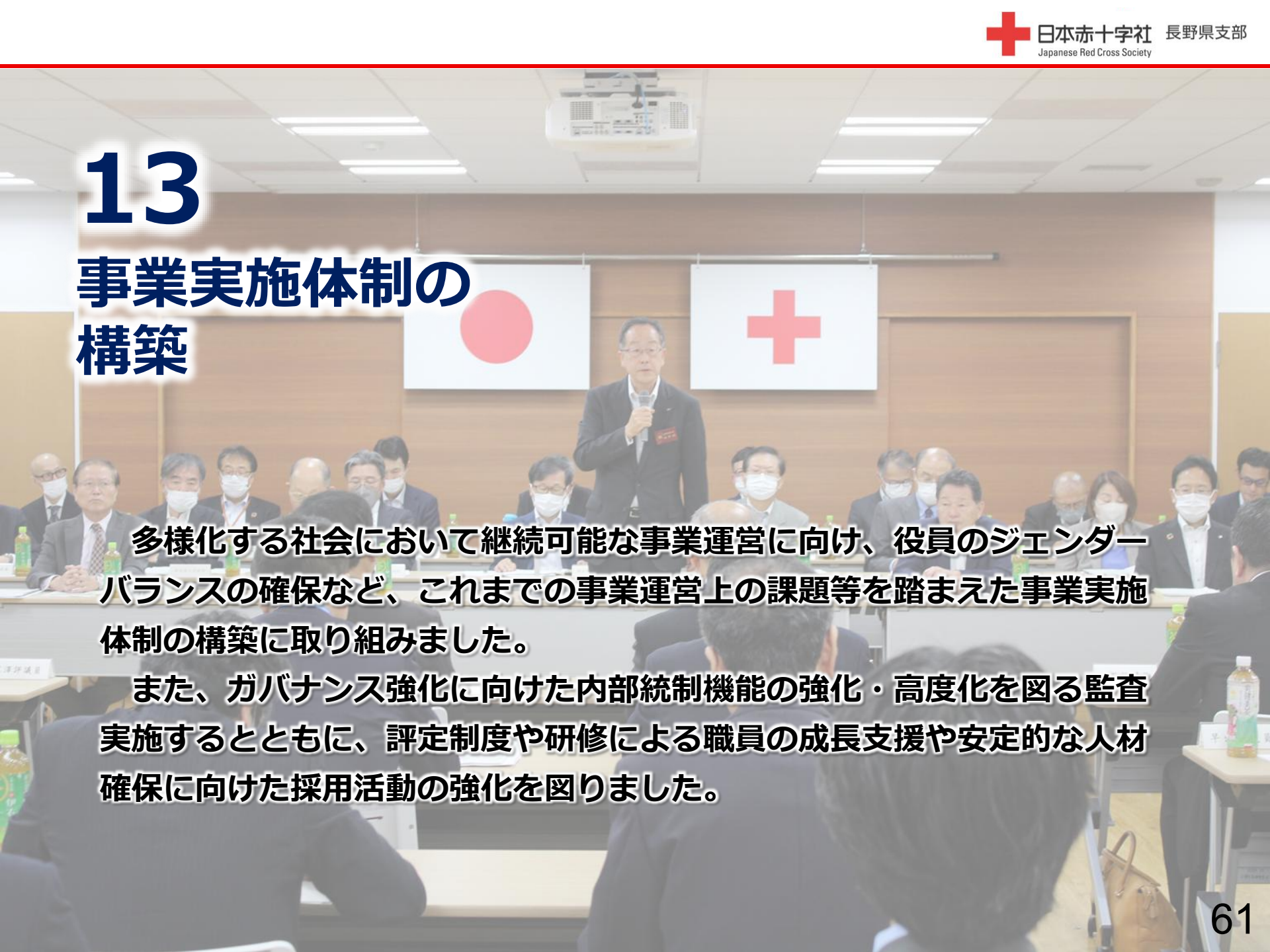
長野県赤十字歴史資料館



「国際赤十字・赤新月運動館」の記録冊子

# 13

## 事業実施体制の構築



多様化する社会において継続可能な事業運営に向け、役員のジェンダーバランスの確保など、これまでの事業運営上の課題等を踏まえた事業実施体制の構築に取り組みました。

また、ガバナンス強化に向けた内部統制機能の強化・高度化を図る監査実施するとともに、評価制度や研修による職員の成長支援や安定的な人材確保に向けた採用活動の強化を図りました。

## (1) 評議員会の開催

評議員会において、次のとおり議案が審議され、いずれも原案のとおり承認されました。

ア 令和7年6月18日

第1号議案 令和6年度事業報告について

第2号議案 令和6年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算について

第3号議案 日本赤十字社代議員の選出について

第4号議案 日本赤十字社長野県支部副支部長の選出について

イ 令和7年8月（文書審議）

第1号議案 日本赤十字社長野県支部支部長の選出について

ウ 令和8年2月12日

第1号議案 令和8年度事業計画（案）について

第2号議案 令和8年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算（案）について

第3号議案 日本赤十字社長野県支部監査委員の選出について

## (2) 郡市地区及び町村分区事務担当課長会議の開催

県内各地域における翌年度の赤十字事業の指針となる事業計画（案）及び予算（案）を協議するため、12月16日にWEB形式で開催しました。

## (3) 監査委員監査の実施

評議員会で選出された監査委員により、支部及び施設の業務管理及び執行並びに会計監査を実施しました。

<b>監査委員</b>	<b>柳澤 勇</b>	<b>原 修二</b>	<b>大久保 憲一</b>
-------------	-------------	-------------	---------------

施設名	実施日
長野赤十字病院	令和8年5月27日
諏訪赤十字病院	5月28日
安曇野赤十字病院	5月26日
飯山赤十字病院	5月27日
下伊那赤十字病院	5月26日
川西赤十字病院	5月27日
松本赤十字乳児院	5月28日
長野県赤十字血液センター	5月26日
日本赤十字社長野県支部	5月28日

令和元年度決算から三様監査（①監査委員による監査 ②監査法人が会計監査を行う外部監査 ③本社監査室による内部監査）が実施されています。

## (4) 赤十字精神をもった職員の成長支援と多様な人材の確保

職員の成長支援として、5つの階層別研修を実施しました。各職位に求められる役割への理解を促すとともに、職務遂行能力の向上を図りました。また、赤十字の歴史や組織の仕組みを再確認するプログラムを通じて、組織全体の一体感の醸成に努めました。

さらに、日本赤十字社の各種事業に携わる事務系総合職については、赤十字の使命や役割に共感し、将来にわたり社の発展に寄与する人材を確保するため、県内の施設が連携して採用活動を行いました。

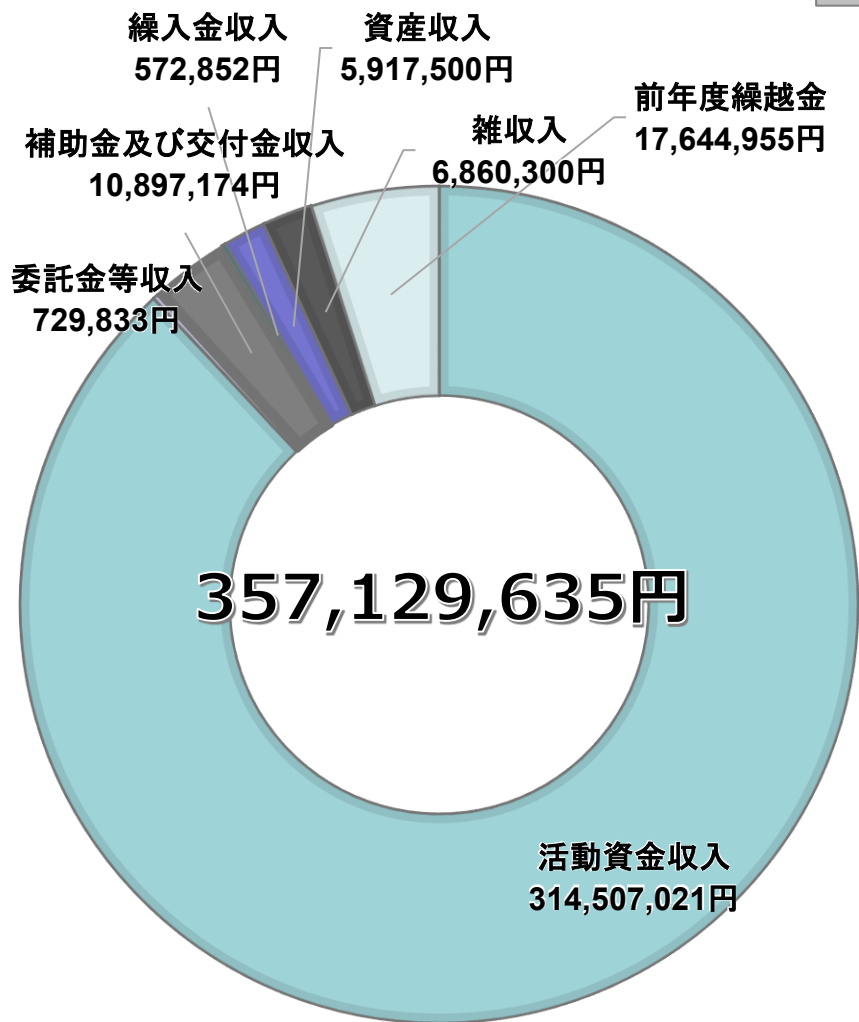


一般の方への「赤十字の説明」を考える受講者  
(中堅職員研修)



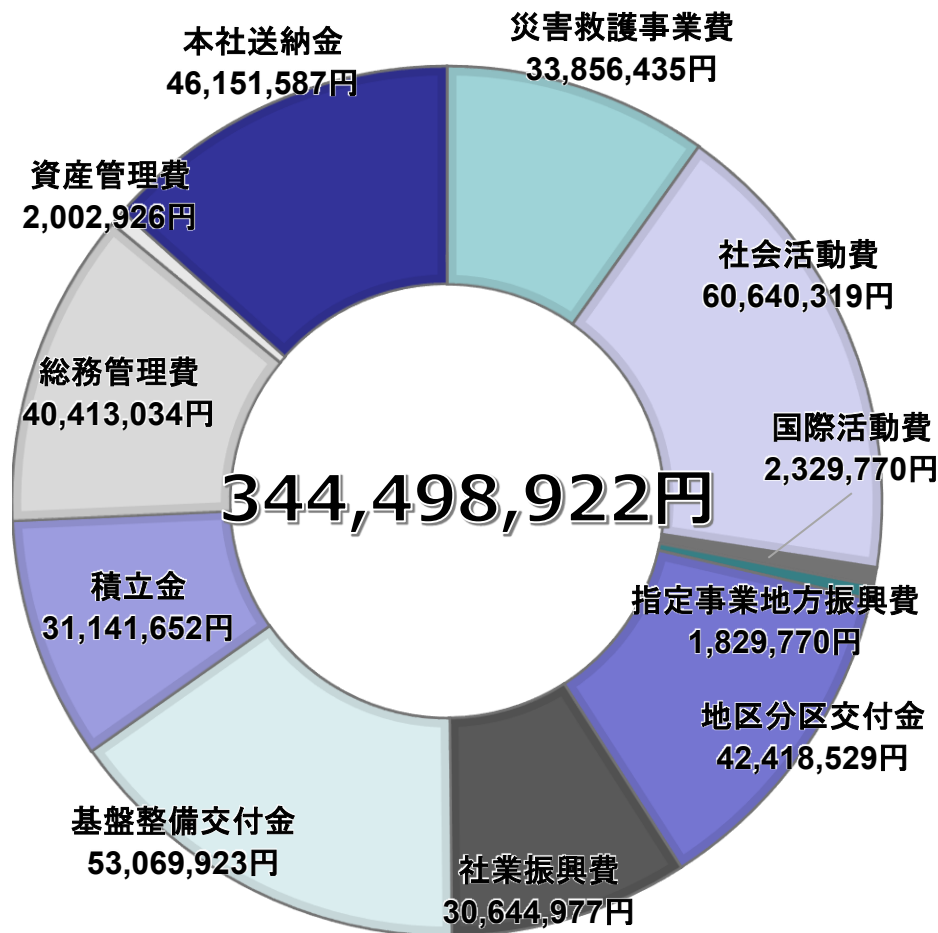
今後の赤十字について意見を出し合う受講者  
(課長級職員研修)

## 歳入



	R 7年度 (円)	割合
活動資金収入	314,507,021	88.1%
委託金等収入	729,833	0.2%
補助金及び交付金収入	10,897,174	3.0%
繰入金収入	572,852	0.2%
資産収入	5,917,500	1.7%
雑収入	6,860,300	1.9%
前年度繰越金	17,644,955	4.9%
<b>合計</b>	<b>357,129,635</b>	

## 歳出



	R 7年度 (円)	割合
災害救護事業費	33,856,435	9.8%
社会活動費	60,640,319	17.6%
国際活動費	2,329,770	0.7%
指定事業地方振興費	1,829,770	0.5%
地区分区交付金	42,418,529	12.3%
社業振興費	30,644,977	8.9%
基盤整備交付金	53,069,923	15.4%
積立金	31,141,652	9.1%
総務管理費	40,413,034	11.7%
資産管理費	2,002,926	0.6%
本社送納金	46,151,587	13.4%
予備費	0	0.0%

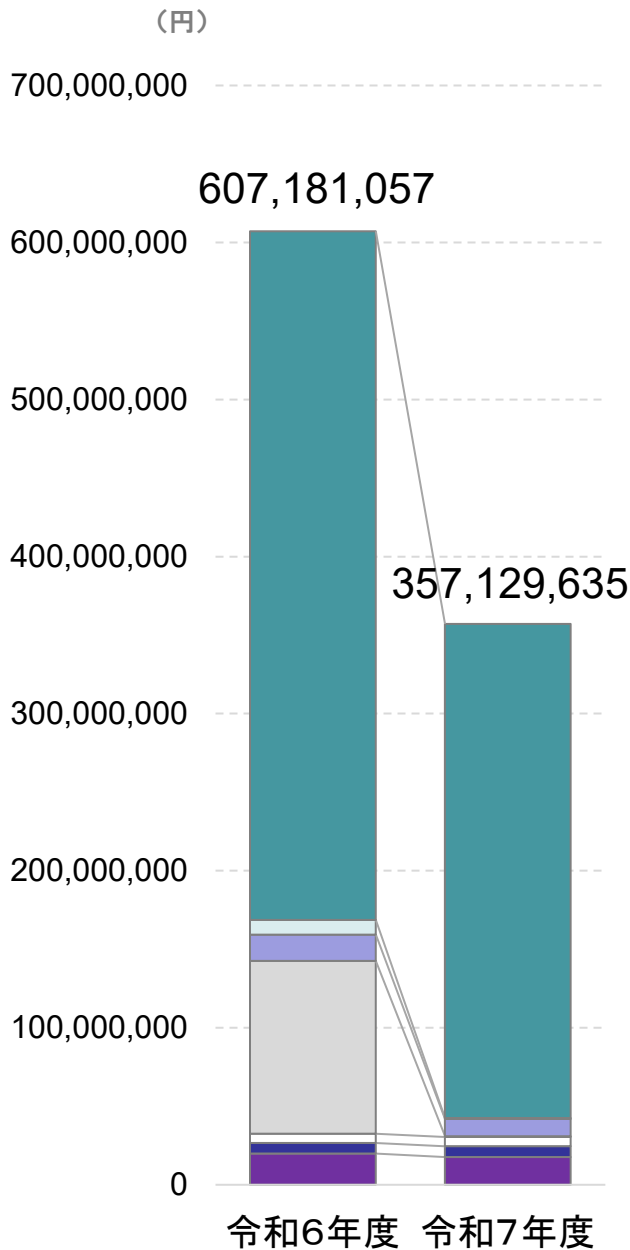
合計

**344,498,922**

歳入歳出差引残額 (翌年度繰越額)

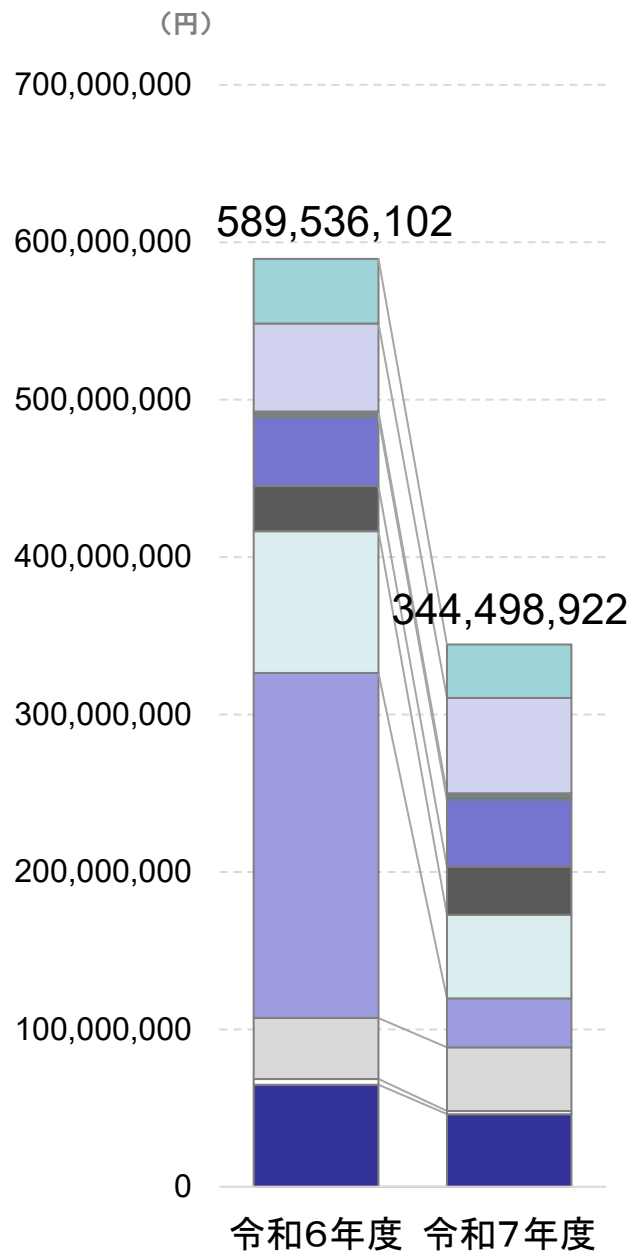
**12,630,713**

## 歳入



	R 6 年度	R 7 年度	増減 (円)
活動資金収入	438,525,174	314,507,021	△124,018,153
委託金等収入	9,282,810	729,833	△8,552,977
補助金及び交付金収入	16,835,689	10,897,174	△5,938,515
繰入金収入	110,042,705	572,852	△109,469,853
資産収入	5,904,000	5,917,500	13,500
雑収入	6,725,081	6,860,300	135,219
前年度繰越金	19,865,598	17,644,955	△2,220,643
<b>合計</b>	<b>607,181,057</b>	<b>357,129,635</b>	<b>△250,051,422</b>

## 歳出



	R 6年度	R 7年度	増減 (円)
災害救護事業費	41,059,084	33,856,435	△7,202,649
社会活動費	56,023,069	60,640,319	4,617,250
国際活動費	2,100,000	2,329,770	229,770
指定事業振興費	1,600,000	1,829,770	229,770
地区分区交付金	43,617,555	42,418,529	△1,199,026
社業振興費	28,778,746	30,644,977	1,866,231
基盤整備交付金	89,918,647	53,069,923	△36,848,724
積立金	219,252,592	31,141,652	△188,110,940
総務管理費	38,689,343	40,413,034	1,723,691
資産管理費	3,633,290	2,002,926	△1,630,364
本社送納金	64,863,776	46,151,587	△18,712,189
予備費	0	0	0
<b>合計</b>	<b>589,536,102</b>	<b>344,498,922</b>	<b>△245,037,180</b>

## 歳入

(単位：円)

科目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
2 支部収入	379,188,000	357,129,635	607,181,057	△250,051,422	
1 活動資金収入	300,417,000	314,507,021	438,525,174	△124,018,153	【内訳】 地区分区 223,265,371 (△ 7,787,547) 支 部 35,935,809 (△81,673,451) 施 設 54,776,071 (△35,086,925) 海外救援金 529,770 (+ 529,770)
一般活動資金		270,234,687	404,366,843	△134,132,156	地区分区、支部及び医療施設あて寄付の減
法人活動資金		44,272,334	34,158,331	10,114,003	医療施設あて大口寄付の増
2 委託金等収入	730,000	729,833	9,282,810	△8,552,977	
他団体等委託金収入		0	15,000	△15,000	
災害等補償収入		729,833	9,267,810	△8,537,977	能登半島大雨災害にかかる災害救助費
3 補助金及び交付金収入	48,792,000	10,897,174	16,835,689	△5,938,515	
他団体等補助金収入		250,000	500,000	△250,000	長野県赤十字有功会からの補助金の減
管理経費調整交付金収入		492,258	558,684	△66,426	本社主催の研修及び会議への出席等に係る本社交付金の減
施設整備交付金収入		6,510,263	13,535,100	△7,024,837	県内赤十字施設に対する本社交付金の減
障害者雇用促進事業助成金収入		580,000	580,000	0	
その他本社交付金収入		3,064,653	1,661,905	1,402,748	全国会員情報システム保守費用の発生による本社交付金の増

## 歳入

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
5 繰入金収入	530,000	572,852	110,042,705	△109,469,853	
災害等資金繰入金収入		0	110,000,000	△110,000,000	(R6) 資金積立に係る本社ガイドラインの変更による資金の積み替え
国際救護活動資金繰入金収入		529,770	0	529,770	個人住民税控除適用海外救援金の送金にかかる資金繰入金
本社繰入金収入		43,082	42,705	377	
9 資産収入	5,904,000	5,917,500	5,904,000	13,500	
地代収入		5,917,500	5,904,000	13,500	電柱等敷地料収入及び駐車場貸付収入
10 雑収入	7,371,000	6,860,300	6,725,081	135,219	
講習会等負担金収入		5,652,957	5,679,044	△26,087	講習にかかる教本代収入、負担金収入の減
青少年赤十字等行事参加負担金収入		0	42,000	△42,000	
その他負担金収入		167,300	0	167,300	ブロック事務局長会議参加者負担金
雑収入		1,040,043	1,004,037	36,006	
11 前年度繰越金	15,444,000	17,644,955	19,865,598	△2,220,643	
前年度繰越金		17,644,955	19,865,598	△2,220,643	

## 歳出

(単位：円)

科目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
2 支部費	379,188,000	344,498,922	589,536,102	△245,037,180	
1 災害救護事業費	35,536,000	33,856,435	41,059,084	△7,202,649	
災害救護指導事業費		21,926,668	29,051,018	△7,124,350	能登半島大雨災害にかかる災害救助費の施設への送金
災害救護装備費		6,915,637	4,765,266	2,150,371	救護装備整備品目の変更による増
非常災害救援物資整備費		0	2,233,000	△2,233,000	救援物資整備品目の変更による減
救護看護師指導養成費		5,014,130	5,009,800	4,330	
2 社会活動費	73,665,000	60,640,319	56,023,069	4,617,250	
救急法等普及費		19,876,729	17,811,077	2,065,652	救急法等指導管理費の増
奉仕団活動費		22,916,692	23,993,290	△1,076,598	地域赤十字奉仕団活動に係る補助金の見直しによる減、奉仕団活動管理費の減
青少年赤十字活動費		4,903,166	2,905,032	1,998,134	青少年赤十字活動管理費の増
社会福祉活動費		35,690	20,604	15,086	
医療事業費		12,519,368	11,274,566	1,244,802	医療事業管理費の増
血液事業費		388,674	18,500	370,174	
3 国際活動費	2,330,000	2,329,770	2,100,000	229,770	
国際救援事業費		1,260,000	1,470,000	△210,000	
個人住民税控除海外救援金		529,770	0	529,770	個人住民税控除適用海外救援金に係る送金
国際開発協力事業費		540,000	630,000	△90,000	

## 歳出

(単位：円)

科目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
4 指定事業地方振興費	1,830,000	1,829,770	1,600,000	229,770	
災害救護設備整備費		1,300,000	1,600,000	△300,000	災害救護設備の整備数変更による増
支部国際活動基金積立金		529,770	0	529,770	個人住民税控除適用海外救援金にかかる積立金
5 地区分区交付金支出	51,400,000	42,418,529	43,617,555	△1,199,026	
事務費交付金支出		19,294,000	19,581,000	△287,000	地区分区における活動資金収入に伴う交付金（活動資金実績の8%）の減
事業費交付金支出		23,124,529	24,036,555	△912,026	地区分区における活動資金収入に伴う交付金（活動資金実績の10%）の減
6 社業振興費	32,818,000	30,644,977	28,778,746	1,866,231	
社業振興費		16,421,688	16,422,944	△1,256	
広報活動費		14,223,289	12,355,802	1,867,487	絵本「大給恒」作製費用、広報誌作製費の増
7 基盤整備交付金・補助金支出	53,071,000	53,069,923	89,918,647	△36,848,724	
医療施設基盤整備交付金支出		51,048,910	88,813,400	△37,764,490	医療施設に対する寄付金に伴う交付金（個人住民税控除適用寄付金を除く）の減
血液事業基盤整備交付金支出		3,749	21,247	△17,498	
社会福祉施設基盤整備交付金支出		2,017,264	1,084,000	933,264	社会福祉施設に対する寄付金に伴う交付金（個人住民税控除適用寄付金を除く）の増
10 積立金支出	31,286,000	31,141,652	219,252,592	△188,110,940	
災害等資金積立金支出		5,000,000	38,000,000	△33,000,000	積立額の減
施設整備準備資金積立金支出		18,300,000	173,891,000	△155,591,000	積立額の減
退職給与資金特別会計積立金支出		7,841,652	7,361,592	480,060	退職給与資金の積立額の増

## 歳出

(単位：円)

科目	予算現額	決算額	前年度決算額	前年度差引増減額	主な増減理由
12 総務管理費	45,779,000	40,413,034	38,689,343	1,723,691	
評議員会等諸費		298,112	440,038	△141,926	評議員会に係る評議員旅費の減
総務管理費		39,521,922	37,656,305	1,865,617	社会保険料等の負担金の増
監査費		593,000	593,000	0	
13 資産取得及び資産管理費	2,321,000	2,002,926	3,633,290	△1,630,364	
修繕費		0	1,379,400	△1,379,400	(R6) 長野県赤十字歴史資料館の改修工事
損害保険料		536,266	598,063	△61,797	
管理諸費		1,466,660	1,655,827	△189,167	支部庁舎清掃費及び樹木剪定費等の減
14 本社送納金支出	46,152,000	46,151,587	64,863,776	△18,712,189	
本社送納金支出		46,151,587	64,863,776	△18,712,189	活動資金収入に伴う本社送納金（指定事業寄付金を除く活動資金実績の15%）の減
15 予備費	3,000,000	0	0	0	
予備費		0	0	0	

歳入歳出差引残額（翌年度繰越額）

12,630,713



## 令和7年度医療施設特別会計収支決算概要

(単位：円)

(施設名)		長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	川西	合計
(科目)								
医業収益	令和7年度	27,288,455,243	19,034,480,172	6,973,013,559	3,968,267,253	1,258,558,120	895,776,770	59,418,551,117
	令和6年度	26,671,038,090	18,464,304,076	6,447,296,608	3,866,573,028	1,210,663,281	838,474,175	57,498,349,258
	増減	617,417,153	570,176,096	525,716,951	101,694,225	47,894,839	57,302,595	1,920,201,859
医業費用	令和7年度	26,144,145,008	18,574,279,861	6,696,756,753	4,059,742,032	1,278,501,225	920,789,946	57,674,214,825
	令和6年度	24,919,102,207	17,568,837,699	6,485,501,819	3,639,768,806	1,322,494,346	882,879,318	54,818,584,195
	増減	1,225,042,801	1,005,442,162	211,254,934	419,973,226	△43,993,121	37,910,628	2,855,630,630
医療事業利益	令和7年度	1,144,310,235	460,200,311	276,256,806	△91,474,779	△19,943,105	△25,013,176	1,744,336,292
	令和6年度	1,751,935,883	895,466,377	△38,205,211	226,804,222	△111,831,065	△44,405,143	2,679,765,063
	増減	△607,625,648	△435,266,066	314,462,017	△318,279,001	91,887,960	19,391,967	△935,428,771
医業外収益	令和7年度	776,270,328	790,490,456	491,320,819	407,796,780	176,520,835	176,599,607	2,818,998,825
	令和6年度	469,970,853	579,604,626	330,016,705	281,006,245	162,612,223	176,690,333	1,999,900,985
	増減	306,299,475	210,885,830	161,304,114	126,790,535	13,908,612	△90,726	819,097,840
医業外費用	令和7年度	80,342,121	54,347,452	80,262,030	33,750,824	2,944,685	4,448,642	256,095,754
	令和6年度	63,040,377	49,557,305	60,173,827	18,384,404	3,615,102	3,367,346	198,138,361
	増減	17,301,744	4,790,147	20,088,203	15,366,420	△670,417	1,081,296	57,957,393
医業外利益	令和7年度	695,928,207	736,143,004	411,058,789	374,045,956	173,576,150	172,150,965	2,562,903,071
	令和6年度	406,930,476	530,047,321	269,842,878	262,621,841	158,997,121	173,322,987	1,801,762,624
	増減	288,997,731	206,095,683	141,215,911	111,424,115	14,579,029	△1,172,022	761,140,447

## 令和7年度医療施設特別会計収支決算概要

(単位：円)

(施設名)		長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	川西	合計
病院収益 (総収益)	令和7年度	28,199,347,933	20,001,882,717	7,540,650,263	4,465,407,117	1,649,831,480	1,192,858,071	63,049,977,581
	令和6年度	27,290,479,881	19,219,018,142	6,843,104,228	4,241,465,465	1,581,934,113	1,135,454,515	60,311,456,344
	増減	908,868,052	782,864,575	697,546,035	223,941,652	67,897,367	57,403,556	2,738,521,237
病院費用 (総費用)	令和7年度	26,407,916,156	18,920,106,592	6,912,104,761	4,237,355,992	1,488,017,818	1,010,081,293	58,975,582,612
	令和6年度	25,167,738,268	17,941,145,336	6,693,716,957	3,814,942,158	1,534,769,907	969,218,977	56,121,531,603
	増減	1,240,177,888	978,961,256	218,387,804	422,413,834	△46,752,089	40,862,316	2,854,051,009
当期純利益	令和7年度	1,791,431,777	1,081,776,125	628,545,502	228,051,125	161,813,662	182,776,778	4,074,394,969
	令和6年度	2,122,741,613	1,277,872,806	149,387,271	426,523,307	47,164,206	166,235,538	4,189,924,741
	増減	△331,309,836	△196,096,681	479,158,231	△198,472,182	114,649,456	16,541,240	△115,529,772

### □実質的収支について

退職給付会計の決算整理において生じる数理計算上の差異（年金債務の増減）は、国際会計基準に則って相当額を給与費の増減で処理することになっています。これは非資金性（現金の移動を伴わない）の処理であることから、当該数値（本社が指示する額）を除いた実質値を下表に示します。

数理計算上の 差異 (本社指示額)	令和7年度	△1,936,100,920	△1,086,404,486	△823,376,420	△532,526,821	△300,470,687	△124,259,472	△4,803,138,806
	令和6年度	△2,283,612,926	△1,127,175,365	△842,463,199	△706,824,081	△199,980,617	△163,882,468	△5,323,938,656
	増減	347,512,006	40,770,879	19,086,779	174,297,260	△100,490,070	39,622,996	520,799,850
医療事業利益 【実質】	令和7年度	△744,217,670	△578,404,848	△513,268,491	△588,208,009	△274,831,244	△134,052,031	△2,832,982,293
	令和6年度	△466,176,700	△202,119,911	△859,860,323	△459,396,107	△281,322,363	△191,444,410	△2,460,319,814
	増減	△278,040,970	△376,284,937	346,591,832	△128,811,902	6,491,119	57,392,379	△372,662,479
当期純利益 【実質】	令和7年度	△144,669,143	△4,628,361	△194,830,918	△304,475,696	△138,657,025	58,517,306	△728,743,837
	令和6年度	△160,871,313	150,697,441	△693,075,928	△280,300,774	△152,816,411	2,353,070	△1,134,013,915
	増減	16,202,170	△155,325,802	498,245,010	△24,174,922	14,159,386	56,164,236	405,270,078

## 令和7年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告書

(単位：円)

(施設名) (科目)	長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	川西	合計
医業収益	27,288,455,243	19,034,480,172	6,973,013,559	3,968,267,253	1,258,558,120	895,776,770	59,418,551,117
医業費用	26,144,145,008	18,574,279,861	6,696,756,753	4,059,742,032	1,278,501,225	920,789,946	57,674,214,825
医療事業利益	1,144,310,235	460,200,311	276,256,806	△91,474,779	△19,943,105	△25,013,176	1,744,336,292
医業外収益	776,270,328	790,490,456	491,320,819	407,796,780	176,520,835	176,599,607	2,818,998,825
医業外費用	80,342,121	54,347,452	80,262,030	33,750,824	2,944,685	4,448,642	256,095,754
医業外利益	695,928,207	736,143,004	411,058,789	374,045,956	173,576,150	172,150,965	2,562,903,071
医療社会事業収益	11,992,054	1,806,281	12,078,050	2,996,917	107,680	40,214,000	69,194,982
医療奉仕費用	85,930,256	61,387,699	88,000,135	66,873,336	572,102	31,132,446	333,895,974
医療社会事業利益	△73,938,202	△59,581,418	△75,922,085	△63,876,419	△464,422	9,081,554	△264,700,992
付帯事業収益	121,648,768	160,307,928	58,492,760	86,346,167	214,394,848	80,267,694	721,458,165
付帯事業費用	92,752,231	206,060,029	46,825,391	74,442,990	203,419,217	53,585,330	677,085,188
付帯事業利益	28,896,537	△45,752,101	11,667,369	11,903,177	10,975,631	26,682,364	44,372,977

## 令和7年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告書

(単位：円)

(施設名) (科目)	長野	諏訪	安曇野	飯山	下伊那	川西	合計
特別利益	981,540	14,797,880	5,745,075	0	249,997	0	21,774,492
特別損失	4,746,540	22,443,615	260,452	2,546,810	2,580,589	124,929	32,702,935
特別利益	△3,765,000	△7,645,735	5,484,623	△2,546,810	△2,330,592	△124,929	△10,928,443
法人税等	0	1,587,936	0	0	0	0	1,587,936
病院収益	28,199,347,933	20,001,882,717	7,540,650,263	4,465,407,117	1,649,831,480	1,192,858,071	63,049,977,581
病院費用	26,407,916,156	18,920,106,592	6,912,104,761	4,237,355,992	1,488,017,818	1,010,081,293	58,975,582,612
当期純利益	1,791,431,777	1,081,776,125	628,545,502	228,051,125	161,813,662	182,776,778	4,074,394,969
利益剰余金(欠損金) 累計額	15,038,949,574	9,910,033,279	△2,244,724,122	△752,630,599	515,094,059	△454,602,307	22,012,119,884

### □実質的収支について

退職給付会計の決算整理において生じる数理計算上の差異（年金債務の増減）は、国際会計基準に則って相当額を給与費の増減で処理することになっています。これは非資金性（現金の移動を伴わない）の処理であることから、当該数値（本社が指示する額）を除いた実質値を下表に示します。

数理計算上の差異 (本社指示額)	△ 1,936,100,920	△ 1,086,404,486	△ 823,376,420	△ 532,526,821	△ 300,470,687	△ 124,259,472	△ 4,803,138,806
医療事業利益【実質】	△744,217,670	△578,404,848	△513,268,491	△588,208,009	△274,831,244	△134,052,031	△2,832,982,293
当期純利益【実質】	△144,669,143	△4,628,361	△194,830,918	△304,475,696	△138,657,025	58,517,306	△728,743,837

## 令和7年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算報告書

(単位：円)

区分		令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	増減	主な増減理由
事業活動資金	収入	285,088,480	259,574,188	25,514,292	措置費（事務費）単価の増
	支出	222,093,079	218,534,844	3,558,235	人件費、職員昇給分の増
	収支差額	62,995,401	41,039,344	21,956,057	
施設整備等資金	収入	0	2,900,000	△2,900,000	(R6) 里親支援センター開設に伴う環境改善事業補助金
	支出	613,360	3,541,906	△2,928,546	(R6) 里親支援センター開設に伴う施設整備
	収支差額	△613,360	△641,906	28,546	
その他の活動資金	収入	4,815,636	6,305,316	△1,489,680	退職者にかかる本社拠出金
	支出	59,375,340	39,205,000	20,170,340	雇用継続、将来の人材確保のための積立金の増
	収支差額	△54,559,704	△32,899,684	△21,660,020	
当期資金収支差額合計		7,822,337	7,497,754	324,583	
前期末支払資金残高		74,647,967	67,150,213	7,497,754	
当期末支払資金残高		82,470,304	74,647,967	7,822,337	

災害や紛争、貧困や感染症で  
傷つき苦しんでいる人をなんとしても救いたい。  
私たちを動かしているのは、  
この強い思いなんだ。  
あなたの想いを赤十字と一緒に、  
救う力に変えませんか。

# 赤十字は、 動いている！

## With You

 **SAVE365** Magazine  
Japanese Red Cross Society



ご当地ハートラちゃん誕生！！  
長野県は『登山ハートラちゃん』